Forcepoint

データシート

Forcepoint Data Security

エンタープライズクラスのDLP。すべての主要チャネルで統合され、クラウドから簡単に管理できます。

今日、データ セキュリティはあらゆる企業の戦略においてビジネス上極めて重要な部分です。しかし、組織がデータ セキュリティを理解したと感じた瞬間に、最新のセキュリティ課題、つまり GenAI アプリケーションの安全な使用という新たな課題が登場します。データがデバイスやクラウド環境に分散し、さらに GenAI アプリケーションが台頭する現在、AI の世界で機密データを保護することは不可能に思えるかもしれません。

Forcepoint Data Securityは、現代の企業向けに設計されたクラウドネイティブなDLPソリューションです。このDLP SaaSソリューションは、機密情報を保護し、データ漏洩を防止し、世界中のプライバシー規制への準拠を可能にします。迅速な導入とポリシー管理を提供することで、データ保護を合理化し、GenAIやクラウドアプリ、ウェブ、電子メール、エンドポイントにまたがる統合管理を実現します。Forcepoint Risk-Adaptive Protection（リスク適応型プロテクション）は、リアルタイムでユーザーのリスクに関する洞察を提供します。Forcepoint Data Securityでコストとリスクを削減し、生産性を向上させましょう。

強力なエンタープライズクラスのDLPにより
あらゆるチャネルでデータ識別を実現

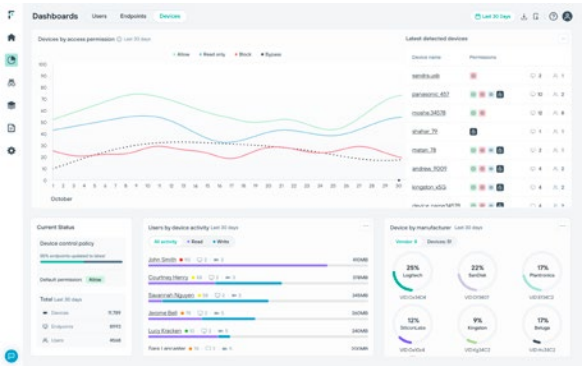
- → すぐに使える1,700以上の事前定義された分類子、テンプレート、ポリシー。
- → 自然言語処理（NLP）
- → 900種類以上のファイルタイプをカバーする高度な真のファイルタイプ検出。

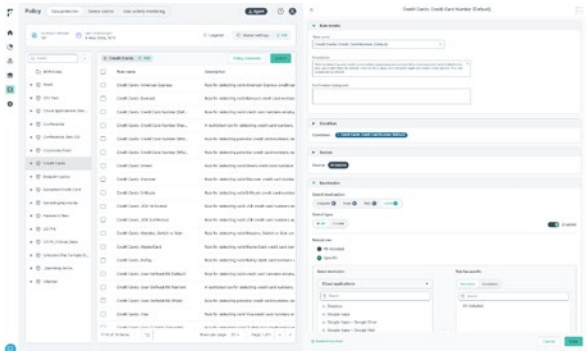
GenAIアプリケーションを安全に使用

ForcepointでAI変革の旅を今すぐ始めましょう。ChatGPT、Copilot、GeminiなどのGenAIアプリケーションを安全に使用することで、生産性と効率性を高めましょう。Forcepoint Data Securityを使えば、GenAIアプリケーションの正しい使い方をユーザーに指導したり、アップロードや貼り付けに含まれる機密情報を検査して自動的にブロックしたり、機密データを悪用しようとする試みをログに記録したりすることができます。

統合管理:「すべてを制御する1つのポリシー」

Forcepoint Data Securityインターフェースから、すべてのForcepoint サービスをシームレスに管理できます。すべてのチャネル(CASB、SWG、電子メール、エンドポイント)を単一のポリシーで制御し、すべての重要な出口で統一性を確保します。ワンクリックで、新しいポリシーを導入するか、またはすべての主要チャネルに既存のポリシーを適用します。統一されたダッシュボードからDLPインシデントを容易に監視でき、組織全体のデータセキュリティを包括的に把握します。





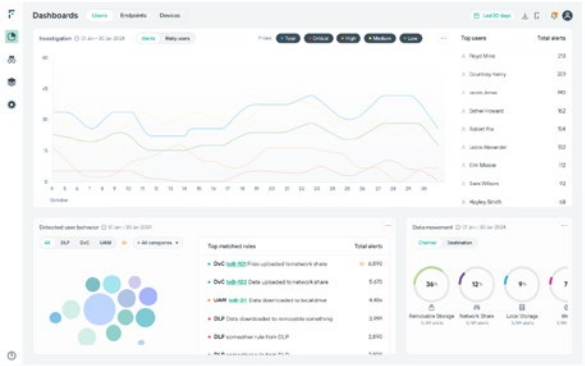
シンプルなポリシー構成

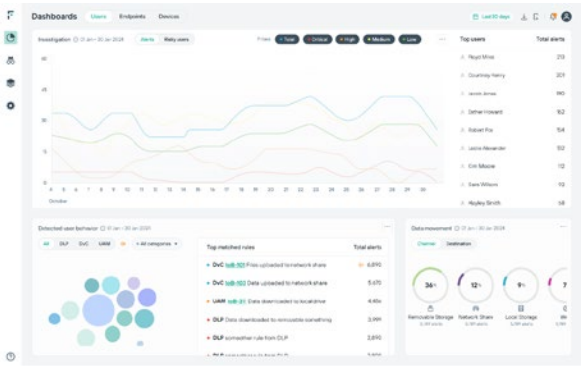
- → 事前定義された最新のポリシー、分類子、テンプレートを無線通信でアップデートし、管理を合理化します。
- → 数回クリックするだけでポリシーを作成し、数分で導入できます(数時間ではありません!)。
- → 90か国以上、そして160以上の地域ですぐに使えるコンプライアンスポリシーを取得し、主要なグローバル地域におけるプライバシー規制に確実に準拠します。

インシデントとアラート管理が容易に

レポートダッシュボードを介して、ほぼリアルタイムですべてのインシデントとアラートを完全に把握できます。統合レポートにより、管理者はクラウドアプリケーション、ウェブトラフィック、電子メール、エンドポイントを全体的に把握できます。Native Device Controlは、USBドライブなどのリムーバブルメディアのデータセキュリティとアクセス制御を強化します。Forcepoint Data Securityは、Risk-Adaptive Protection(リスク適応型プロテクション)とシームレスに統合されており、行動とデータのインタラクションに焦点を当てることで、リアルタイムのコンテキストを提供し、ユーザーの意図を理解します。フォレンジック機能により、データの移動に関するより深い洞察力が得られ、セキュリティインシデントを効果的に調査することが可能になり、ポリシーの実施を強化し、コンプライアンスを合理化できます。これらはすべて単一のエージェントとUIで管理されます。

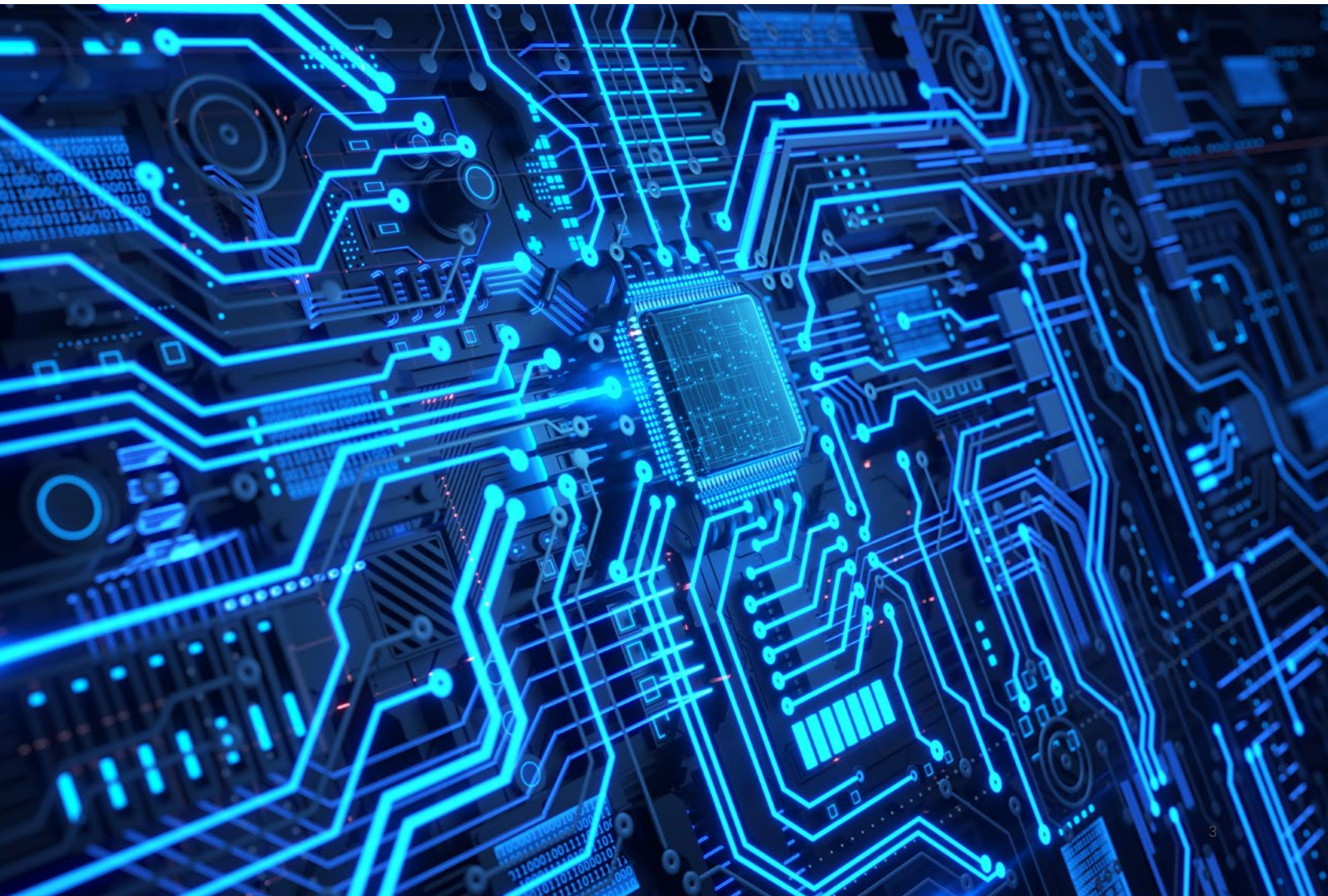
*Risk-Adaptive Protection(リスクスコアを知らせるために必要なエンドポイント)との統合には、独立したSKU(Forcepoint Data Securityのアドオン)が必要です。





クラウドネイティブなSaaSソリューション

- → 全体的なコストを削減。
- → オンプレミス型のハードウェアとソフトウェアの設定コストがかかりません。
- → クラウドネイティブなソリューションは、より大きく、より効率的なスケーラビリティを提供します。
- → 新機能、バグ修正、セキュリティパッチの継続的なアップデートによるシンプルなデータセキュリティ管理。
- → エンドポイントの over-the-air アップデート。
- → 99.99%の稼働率、定期的なダウンタイムなしでグローバルにAWS上に展開。
- → AWS IoT上に構築され、数十万のエンドポイントに容易に拡張が可能。



Forcepoint Data securityは、GenAIやクラウドアプリケーション、ウェブ、電子メール、エンドポイントなど、あらゆるチャネルでグローバルポリシーを管理する包括的なソリューションを提供します。あらかじめ定義されたテンプレート、ポリシー、分類子が豊富に用意されているため、作業負荷が軽減され、インシデント管理の合理化と重要なタスクの優先順位付けが可能になります。

機能	メリット
すぐに使える1,700以上の事前定義された分類子、テンプレート、ポリシー	事前構築されたポリシー/テンプレート/分類子により、DLPの初期導入と継続的なポリシー管理を合理化
自然言語処理（NLP）	300以上の事前定義された自然言語スクリプトを使用し、記述されたコンテンツに基づいて一般的なデータタイプ（PII、PHI、PCI）を比類のない精度で認識
高度な真のファイルタイプ検出	検出を回避するためにファイル名が変更されているかどうかにかかわらず、OCRや画像内のテキストを含む900以上のファイルタイプを識別
CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにわたる統一されたポリシー制御	単一のポリシー内ですべてのチャネルを管理。一度作成すれば、すべての出口チャネルに展開可能
CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにまたがる統合レポート	CASB、SWG、電子メール、エンドポイントにまたがる統合レポート
90か国以上、そして150以上の地域ですぐに使えるコンプライアンスポリシー	すぐに使えるポリシーにより、世界のすべての主要な地域でプライバシー規制に確実に準拠します。
自動アップデート	事前定義された最新のポリシー、分類子、テンプレートのほとんどを自動的にアップデートし、データセキュリティ管理を簡素化
レポートダッシュボード（クラウドポータル）のアラートにすばやくアクセス	効率的で整理されたダッシュボードから、すべてのインシデントとアラートをほぼリアルタイムで確認できます
統合レポート	統合されたユーザーインターフェイスで、DLP、Device Control、Risk-Adaptive Protectionにまたがるすべてのレポートを確認できます
インシデントの優先順位付け	インシデントインターフェイスで、すぐに対応が必要なトップ10のアクションを表示します。Risk-Adaptive Protectionスコアリングと組み合わせることで、インシデントの数やユーザーリスクの重大度を含めてワークフローに優先順位を付けることができます
フォレンジック	データ移動を可視化することで、セキュリティインシデントの調査、データ侵害の原因の把握、詳細なインシデント調査の実施、ポリシーの有効性の向上、および法的/コンプライアンスのニーズへの対応を実現できます。
Over-the-air によるアップグレード	エージェントのアップデートに関してIT部門とやり取りする必要がなくなり、アップデートを公開する時間が短縮されます
エージェント管理の可視化	エンドポイントの展開状況を可視化し、エージェントの問題をすばやく検出します
エンドポイントでの適用にネットワーク接続は必要ありません	セキュリティ侵害を可視化するために、エンドポイントがネットワークに接続されている必要はありません。ネットワーク接続に関係なく、データは常に保護されます
デバイス制御との統合	リムーバブルメディアのデータセキュリティとアクセス制御をシングルエージェントとUIに拡張
Risk-Adaptive Protectionとの統合	シングルエージェント/UIから、リアルタイムで状況に応じた自動化されたポリシーの適用とインシデント管理を行うには、Risk-Adaptive Protection（Forcepoint Data Securityのアドオン）用の独立したSKUが必要です
99.99%の稼働率で、定期的なダウンタイムなし	99.99%の稼働率でグローバルにAWS上に展開

© 2025 Forcepoint。ForcepointおよびFORCEPOINTのロゴは、Forcepointの商標です。本文書で使用しているその他の商標はすべて、各商標権者に帰属します。
[FP-Data Security-Datasheet-JA] 02Jul2025